



第43期 事業報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで



[我が社の基本理念]

われわれは、常に一流を指向し、内に礼節、勤勉、誠実を心がけ、積極果敢に行動します。

- 一、常に需要の動向を的確にとらえ、より良いものを、より安く供給します。
- 一、顧客に奉仕し、明るい職場環境をつくり、従業員の生活向上を図ります。
- 一、限らない情熱と、たゆまぬ努力を重ね、企業の発展を期し社会のために尽くします。



第三工場



品質方針

- ・ユーザーニーズに的確に対応した品質の、製品、サービスを提供し、お客様の永続的な満足と信頼を得る。
- ・品質マネジメントシステムの継続的改善を図る。

環境理念

小松ウオールは、かけがえのない地球環境を守るため「企業活動と環境保全の調和」を経営の重要課題のひとつとして捉え、地球環境保全の活動を通して社会に貢献します。



代表取締役社長

加納 裕

1 会社の経営の基本方針

当社は、間仕切の専門メーカーとして、ビルの高層化・建物の工期短縮という建設業界の要請に即して、受注から設計、製造、施工、サービスまでの自社一貫システムをもって、様々な新製品を社会に送り出し高い評価を得てまいりました。今後においても当社の専門分野である間仕切関連製品を中心に、新製品の開発、サービスの向上を通じて、着実な業容の拡大と安定した収益を継続して上げることにより、株主・取引先・社員との共存共栄を図って社会への一層の貢献を行うことを経営指針として活動してまいります。

2 会社の利益配分に関する基本方針

利益配分に関する基本的な考え方は、収益状況に対応した上で、株主還元の充実を図り、配当性向30%以上の達成を目標とするとともに、その一方で企業体質の強化、および業容の拡大に備えて内部留保を充実することも目標としております。この内部留保につきましては、業界内部における競争激化に対処し、コスト競争力を高めるための設備投資等の資金需要に備えるためであり、将来的には収益の向上を通じて株主の皆様へ還元できるものと考えております。

また、株主優待制度を設け、3月末現在の1単元以上保有の株主様に対して当社オリジナルデザイン図書カードを贈呈する制度を実施しております。

3 目標とする経営指標

当社が目標としている経営指標は、売上高経常利益率10%以上および総資産経常利益率10%以上であります。これらは事業効率向上と株主価値の最大化を図るための資本効率の向上を目指したものであり、連結・個別ともに継続的に達成できる体質を目指しております。具体的には、徹底した合理化、原価低減、効率の高い設備投資等により一人当たりの生産性を高めるとともに、創業時より採用している小分割独立採算制度により、従業員一人ひとりが常に利益を意識した活動をしてまいりました。また、利益増とともに総資産の圧縮を目指し、借入金返済、支払手形廃止、原材料・製品在庫等たな卸資産の圧縮等を実施してまいりました。

今後も目標達成に向けて諸施策を実施し、業績および株主価値の向上を図ってまいりたいと存じます。

4 中長期的な会社の経営戦略

今後の間仕切業界は、景気回復までの期間について長期化の予想もあり、設備投資意欲の減衰傾向が継続し、厳しい受注競争、価格競争が継続するものと考えられます。このような状況下においては、間仕切市場占有率のアップと間仕切関連製品であるドア市場への本格的な進出および厳しい価格競争に耐えられるコスト競争力が不可欠であり、当社は、着実な業容拡大と安定した収益確保のために、以下の中期経営計画を策定、実施してまいります。

- ①営業力の増強と販売網の拡充に努め、最終的には47都道府県に1拠点以上の営業拠点を設置し、エンドユーザーに直結した販売体制の構築に取り組んでまいります。
- ②生産体制の充実を図り、生産性向上および協力工場を含めた生産ネットワークを強化してまいります。
- ③今後も継続する高齢化社会に対応した製品、環境にやさしい製品を戦略製品と位置付け、新製品開発に積極的に取り組んでまいります。

5 会社の対処すべき課題

当社では、収益重視の経営を基本とし、今後も収益確保に努め、業績拡大に取り組んでまいります。また、管理体制面では、内部統制の整備・運用を図るとともに、コーポレート・ガバナンスの充実・強化に努めてまいります。

1. 経営成績

1 当期の概況

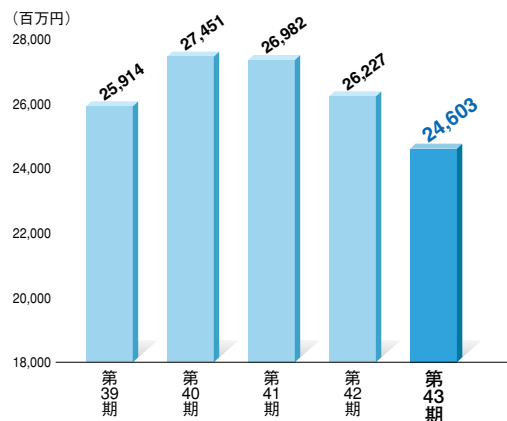
当連結会計年度の国内経済は、一部で景気悪化に底打ちの兆しが見られるものの、世界的な金融危機に端を発した景気低迷の影響が残り、雇用環境、所得環境の悪化や設備投資の低迷は依然続いており、先行きの不透明感を払拭できない状況で推移しております。

間仕切業界におきましても、企業業績の悪化による設備投資意欲の減退から民間需要の減少傾向は依然として改善されず、厳しい経営環境が継続しております。

このような情勢の中で、当社は関連市場であるドア市場へ積極的に進出するとともに、設計指定活動を一層推進し、新規優良顧客の開拓、休眠顧客の掘り起こし、小口物件の積極的な受注の増大に努めてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度は、売上高につきましては、官公庁向けは福祉・厚生施設、学校・体育施設を中心に固定間仕切、大型移動間仕切の納入実績を伸ばしました

■ 売上高



が、民間向けについては、市場低迷の影響は大きく、宿泊施設への納入は若干増加したものの、その他の事務所・オフィス、工場・生産施設については伸び悩み、売上高は246億3百万円（前連結会計年度比6.2%減）と、減収となりました。利益面については、販売費及び一般管理費の節減に努めましたが、売上高の減少、価格競争による売上総利益率の低下、繰延税金資産の取崩し等が影響し、営業利益は40百万円（前連結会計年度比95.9%減）、経常利益は2億22百万円（前連結会計年度比78.6%減）、当期純損失は40百万円（前連結会計年度は当期純利益5億22百万円）となりました。

2 配当金の状況

配当金につきましては、経営方針により配当性向30%以上の達成を目標としております。当期につきましては、厳しい事業環境が続いてまいりましたが、当期末配当については当初予定どおり1株当たり15円とし、中間配当で実施させていただいた1株当たり15円とあわせ、年間配当金額では1株当たり30円とさせていただきます。

3 次期の見通し

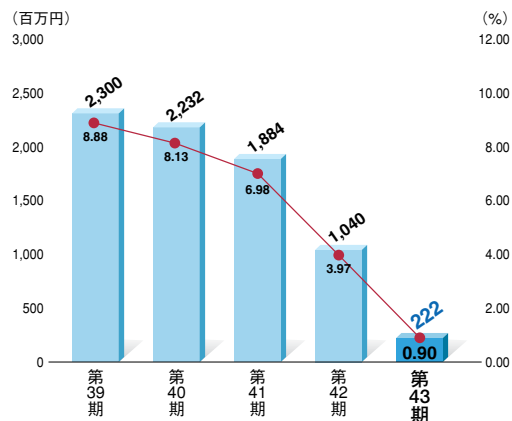
次期の国内経済につきましては、世界的な金融危機に終息の兆しが見えるものの、長期化する円高基調とデフレ懸念により景気の回復は弱含みで推移するものと予想しております。

間仕切業界におきましても、企業収益が減少したことによる需要減退の影響により、新規受注、大型物件の受注の減少が引き続き予想され、今後も厳しい状況が継続するものと思われまます。

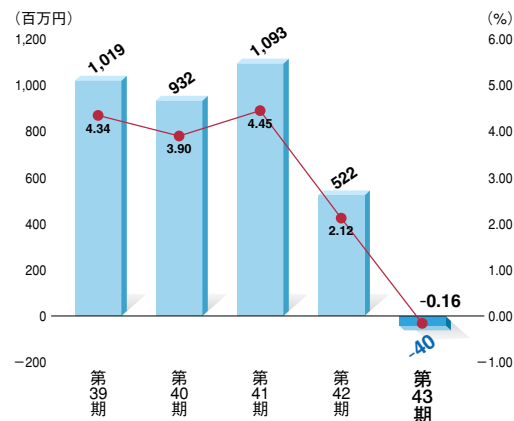
このような状況下において、当社は、「設計指定活動」による受注活動と「新規開拓専任者」による新規優良顧客の開拓を積極的に推進しながら、新製品の開発による他社との差別化を図り、永年培った間仕切のノウハウを提供することで、受注強化を図ってまいります。また、益々進む少子高齢化社会を背景に今後も引き続き需要が見込まれる学校・病院・医療施設向けの可動間仕切、軽量ドア、トイレブース製品の拡販に努めてまいります。

本年4月には山梨県甲府市に営業拠点を新たに開設し、

■ 経常利益
● 売上高経常利益率



■ 当期純利益
● 自己資本利益率



営業の概況

販売体制の拡充を図っております。また、連結子会社の小松ウオールサービス株式会社を平成22年4月1日付けで吸収合併し、経営管理体制の一元化、施工業務の一体運営を図り、より機動的な事業展開を実施してまいります。

これらの見通しと受注残高の消化等を考慮し、次期の業績予想としましては、売上高は260億円、営業利益は3億50百万円、経常利益は4億50百万円、当期純利益は7億円を見込んでおります。

2.財政状態

1 資産、負債、純資産の状況

当連結会計年度末における資産総額は284億69百万円となり、前連結会計年度末より9億3百万円減少しております。これは主に現金及び預金4億22百万円、受取手形及び売掛金2億31百万円、有価証券3億円等の増加と、たな卸資産12億円等の減少による流動資産の減少2億21百万円と有形固定資産1億22百万円等の増加および投資その他の資

産8億25百万円等の減少による固定資産の減少6億81百万円によるものであります。

負債総額は41億95百万円となり、前連結会計年度末より5億14百万円減少しております。これは前受金2億79百万円、賞与引当金1億47百万円等の減少による流動負債の減少5億28百万円と、退職給付引当金1億41百万円の増加等によるものであります。

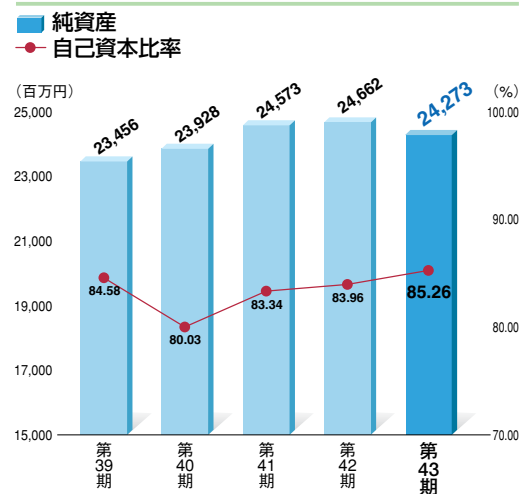
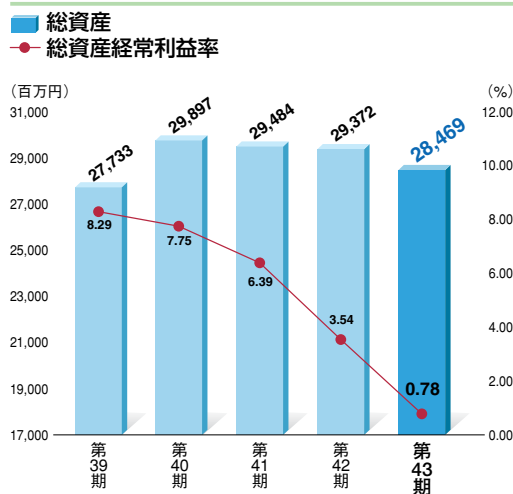
また、純資産につきましては、242億73百万円となり、前連結会計年度末より3億88百万円の減少となりました。これは主として利益剰余金の減少3億89百万円によるものであります。

2 キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は37億60百万円となり、前連結会計年度末より6億22百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により増加した資金は8億29百万円となりま



営業の概況

した。これは主に、たな卸資産の減少額12億円、減価償却費5億9百万円、税金等調整前当期純利益2億3百万円、退職給付引当金の増加額1億41百万円等による増加と、売上債権の増加額2億80百万円、前受金の減少額2億79百万円、役員退職慰労引当金の減少額1億23百万円、法人税等の支払額2億97百万円等による減少であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により増加した資金は1億42百万円となりました。これは主に、保険積立金の払戻による収入10億88百万円、定期預金の預入および払戻による純収入2億円等による増加と有形および無形の固定資産取得による支出6億75百万円、有価証券の取得による支出3億円等による減少であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により減少した資金は3億49百万円となりました。これは主に、配当金の支払による減少であります。

3 キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第40期 (平成19年3月期)	第41期 (平成20年3月期)	第42期 (平成21年3月期)	第43期 (平成22年3月期)
自己資本比率(%)	80.0	83.3	84.0	85.3
時価ベースの自己資本比率(%)	69.5	44.7	38.3	37.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

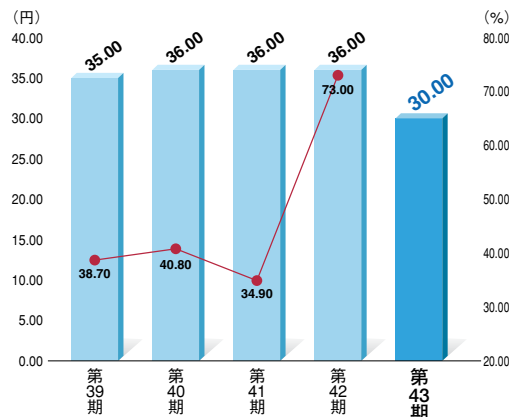
(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

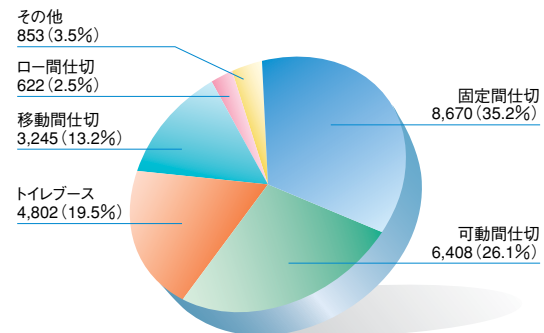
4. 当社は有利子負債および利払いはありませんので、キャッシュ・フロー対有利子負債比率およびインタレスト・カバレッジ・レシオについては記載しておりません。

1株当たり配当金 — 配当性向



(注) 第43期は、当期純損失につき配当性向ありません。

品目別売上高構成比 (単位: 百万円)



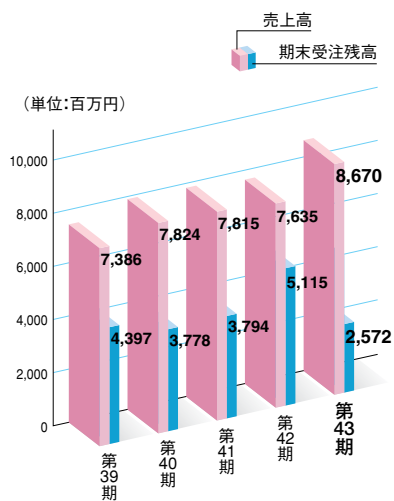
品目別情報

固定間仕切

建物付帯工事として溶接により躯体に取付け
る間仕切であります。



カムドア

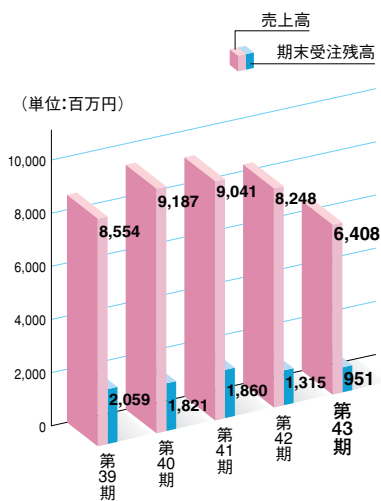


可動間仕切

レイアウト変更の際、使用方法に応じて撤去、
移設が可能な間仕切であります。



マイティ

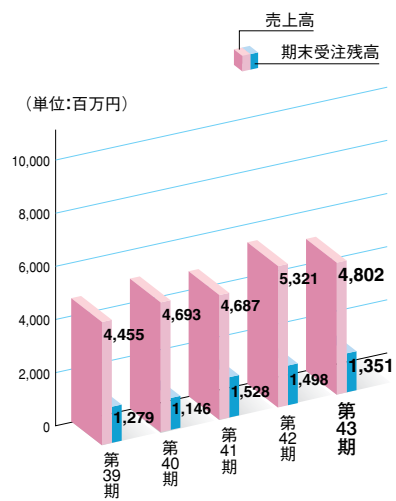


トイレブース

ユニット化したトイレ専用の間仕切であり
ます。

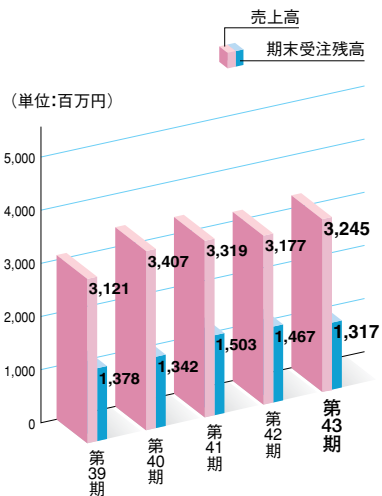


サニティース



移動間仕切

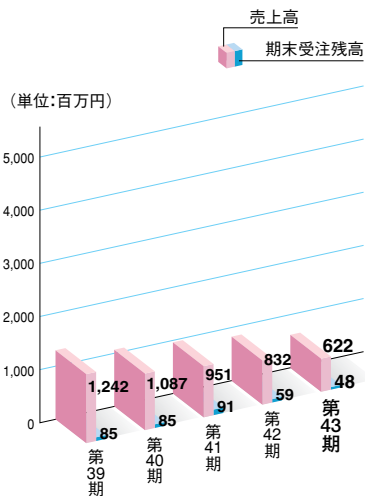
ホテルの宴会場等の仕切りとして、ユーザー自身が移動させて使用する間仕切であります。



小松ランニング

ロー間仕切

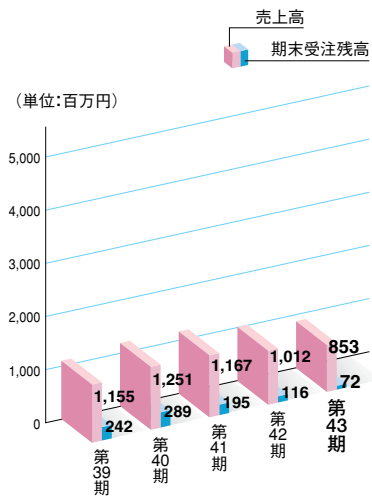
主に、オフィス用衝立およびローパーティション等のオフィス家具であります。



モールシステム

その他

主に、ファンコイルカバー等の金属工事ならびに既存間仕切の解体・移設組立であります。



サーフィスウォール

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第41期 (平成20年3月31日現在)	第42期 (平成21年3月31日現在)	第43期 (平成22年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	17,823	17,874	17,652
現金及び預金	6,559	7,338	7,760
受取手形及び売掛金	8,811	8,550	8,781
有価証券	—	—	300
たな卸資産	2,056	1,601	401
繰延税金資産	346	322	237
その他	99	112	244
貸倒引当金	△ 50	△ 51	△ 72
固定資産	11,660	11,498	10,816
有形固定資産	7,179	6,819	6,941
建物及び構築物	5,361	5,420	5,492
機械装置及び運搬具	2,726	2,691	2,792
土地	3,667	3,636	3,636
その他	921	864	1,060
減価償却累計額	△ 5,497	△ 5,794	△ 6,040
無形固定資産	290	385	406
投資その他の資産	4,190	4,293	3,468
投資有価証券	536	431	431
保険積立金	2,995	3,140	2,381
繰延税金資産	357	431	351
その他	377	377	436
貸倒引当金	△ 76	△ 88	△ 132
資産合計	29,484	29,372	28,469

科 目	第41期 (平成20年3月31日現在)	第42期 (平成21年3月31日現在)	第43期 (平成22年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債	3,664	3,335	2,807
買掛金	1,567	1,494	1,533
未払金	660	651	668
未払法人税等	167	82	—
前受金	417	306	27
賞与引当金	691	641	494
その他	160	159	83
固定負債	1,246	1,373	1,387
退職給付引当金	904	1,016	1,158
役員退職慰労引当金	332	334	211
その他	10	22	17
負債合計	4,910	4,709	4,195
(純資産の部)			
株主資本	24,516	24,661	24,271
資本金	3,099	3,099	3,099
資本剰余金	3,031	3,031	3,031
利益剰余金	18,851	18,991	18,602
自己株式	△ 466	△ 461	△ 461
評価・換算差額等	56	0	2
その他有価証券評価差額金	56	0	2
純資産合計	24,573	24,662	24,273
負債・純資産合計	29,484	29,372	28,469

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	第41期	第42期	第43期
	(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
売上高	26,982	26,227	24,603
売上原価	18,628	18,589	17,978
売上総利益	8,354	7,638	6,625
販売費及び一般管理費	6,495	6,653	6,584
営業利益	1,858	984	40
営業外収益	54	79	202
営業外費用	28	22	20
経常利益	1,884	1,040	222
特別利益	224	7	1
特別損失	44	28	20
税金等調整前当期純利益	2,065	1,019	203
法人税、住民税及び事業税	756	503	85
法人税等調整額	215	△6	158
当期純利益又は当期純損失(△)	1,093	522	△40

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

(単位: 百万円)

	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	3,099
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	3,099
資本剰余金	
前期末残高	3,031
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	3,031
利益剰余金	
前期末残高	18,991
当期変動額	—
剰余金の配当	△ 349
当期純損失(△)	△ 40
自己株式の処分	—
当期変動額合計	△ 389
当期末残高	18,602
自己株式	
前期末残高	△ 461
当期変動額	—
自己株式の取得	△ 0
自己株式の処分	—
当期変動額合計	△ 0
当期末残高	△ 461
株主資本合計	
前期末残高	24,661
当期変動額	—
剰余金の配当	△ 349
当期純損失(△)	△ 40
自己株式の取得	△ 0
自己株式の処分	—
当期変動額合計	△ 390
当期末残高	24,271
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	0
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1
当期変動額合計	1
当期末残高	2
評価・換算差額等合計	
前期末残高	0
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1
当期変動額合計	1
当期末残高	2
純資産合計	
前期末残高	24,662
当期変動額	—
剰余金の配当	△ 349
当期純損失(△)	△ 40
自己株式の取得	△ 0
自己株式の処分	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1
当期変動額合計	△ 388
当期末残高	24,273

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第41期 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	第42期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	第43期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	2,065	1,019	203
減価償却費	497	541	509
退職給付引当金の増減額(△:減少)	128	112	141
役員退職慰労引当金の増減額(△:減少)	△ 313	2	△ 123
貸倒引当金の増減額(△:減少)	47	12	65
受取利息及び受取配当金	△ 34	△ 44	△ 33
持分法による投資損失	4	—	—
減損損失	18	—	—
固定資産売却益	△ 224	—	—
売上債権の増減額(△:増加)	498	247	△ 280
たな卸資産の増減額(△:増加)	175	454	1,200
仕入債務の増減額(△:減少)	△ 182	△ 72	39
未払金の増減額(△:減少)	△ 26	38	19
前受金の増減額(△:減少)	35	△ 110	△ 279
その他(純額)	△ 307	△ 188	△ 371
小 計	2,380	2,014	1,091
利息及び配当金の受取額	32	41	36
法人税等の支払額	△ 1,390	△ 580	△ 297
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,022	1,474	829
投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資有価証券の取得による支出	△ 0	—	△ 300
定期預金の預入による支出	△ 3,800	△ 4,200	△ 4,500
定期預金の払戻による収入	3,300	3,800	4,700
有形固定資産の取得による支出	△ 1,282	△ 186	△ 507
有形固定資産の売却による収入	394	39	2
無形固定資産の取得による支出	△ 114	△ 182	△ 167
投資有価証券の売却による収入	0	10	—
保険積立金の払戻による収入	—	—	1,088
その他(純額)	△ 25	1	△ 173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,527	△ 718	142
財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0	△ 0
自己株式の売却による収入	7	4	—
配当金の支払額	△ 380	△ 382	△ 349
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 373	△ 377	△ 349
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	△ 879	378	622
現金及び現金同等物の期首残高	3,638	2,759	3,138
現金及び現金同等物の期末残高	2,759	3,138	3,760

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

企業集団の状況

当社は、固定間仕切、可動間仕切、トイレブース、移動間仕切、ロー間仕切等の製造および販売を主要な事業とする会社で、当社を中核として周辺に以下の子会社を擁して、企業集団としての事業を展開しております。

連結子会社の状況

会社名	住所	資本金(千円)	出資比率(%)	主な事業の内容
小松ウオールサービス株式会社	大阪府吹田市	10,000	100.0	間仕切の施工

事業の系統図は次のとおりであります。



(注) 小松ウオールサービス株式会社は、平成22年4月1日を合併期日として、当社と合併し、消滅しております。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第41期 (平成20年3月31日現在)	第42期 (平成21年3月31日現在)	第43期 (平成22年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	16,605	16,699	17,278
現金及び預金	5,443	6,236	7,420
受取手形	2,983	2,962	2,464
売掛金	5,788	5,565	6,316
有価証券	—	—	300
製品	116	107	86
仕掛品	111	102	103
未成工事	1,600	1,199	—
原材料	222	—	—
貯蔵品	2	—	—
原材料及び貯蔵品	—	191	210
前払費用	30	34	32
繰延税金資産	292	280	215
その他	62	71	200
貸倒引当金	△ 50	△ 51	△ 72
固定資産	10,983	10,847	10,480
有形固定資産	6,527	6,195	6,620
建物	2,210	2,163	2,166
構築物	103	93	79
機械及び装置	659	527	589
車両及び運搬具	8	7	9
工具、器具及び備品	162	163	130
土地	3,271	3,240	3,428
建設仮勘定	111	—	216
無形固定資産	315	403	418
ソフトウェア	297	384	400
電話加入権	16	16	16
その他	1	1	1
投資その他の資産	4,140	4,249	3,442
投資有価証券	499	409	431
関係会社株式	87	67	19
出資金	24	21	21
破産・更生債権等	83	97	147
長期前払費用	7	4	2
保険積立金	2,964	3,107	2,381
繰延税金資産	295	381	313
その他	252	247	258
貸倒引当金	△ 76	△ 88	△ 132
資産合計	27,589	27,547	27,759

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	第41期 (平成20年3月31日現在)	第42期 (平成21年3月31日現在)	第43期 (平成22年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債	3,529	3,212	2,733
買掛金	1,665	1,600	1,608
未払金	607	550	578
未払費用	70	67	56
未払法人税等	105	51	—
未払消費税等	36	40	—
前受金	417	306	27
預り金	24	26	14
賞与引当金	602	567	448
固定負債	1,112	1,264	1,307
退職給付引当金	811	948	1,078
役員退職慰労引当金	290	300	211
その他	10	15	17
負債合計	4,641	4,476	4,040
(純資産の部)			
株主資本	22,892	23,068	23,716
資本金	3,099	3,099	3,099
資本剰余金	3,031	3,031	3,031
利益剰余金	17,228	17,398	18,046
自己株式	△ 466	△ 461	△ 461
評価・換算差額等	55	2	2
その他有価証券評価差額金	55	2	2
純資産合計	22,948	23,070	23,718
負債・純資産合計	27,589	27,547	27,759

個別財務諸表

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第41期 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	第42期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	第43期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
売上高	26,731	26,024	24,592
売上原価	19,068	19,056	18,390
売上総利益	7,663	6,967	6,202
販売費及び一般管理費	6,170	6,290	6,286
営業利益又は営業損失(△)	1,492	676	△ 84
営業外収益	167	186	260
営業外費用	24	22	20
経常利益	1,635	840	156
特別利益	224	112	1,063
特別損失	42	24	20
税引前当期純利益	1,817	928	1,199
当期純利益	990	552	998

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	3,099
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	3,099
資本剰余金	
資本準備金	
前期末残高	3,031
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	3,031
資本剰余金合計	
前期末残高	3,031
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	3,031
利益剰余金	
利益準備金	
前期末残高	301
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	301
その他利益剰余金	
固定資産圧縮積立金	
前期末残高	215
当期変動額	11
固定資産圧縮積立金の積立	△ 2
固定資産圧縮積立金の取崩	9
当期変動額合計	225
当期末残高	225
別途積立金	
前期末残高	14,986
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	14,986
繰越利益剰余金	
前期末残高	1,895
当期変動額	△ 349
剰余金の配当	998
当期純利益	△ 0
自己株式の処分	—
自己株式の取得	△ 0
固定資産圧縮積立金の積立	△ 11
固定資産圧縮積立金の取崩	2
当期変動額合計	638
当期末残高	2,533

	金額
利益剰余金合計	
前期末残高	17,398
当期変動額	△ 349
剰余金の配当	998
当期純利益	—
自己株式の処分	—
固定資産圧縮積立金の取崩	648
当期変動額合計	18,046
当期末残高	18,046
自己株式	
前期末残高	△ 461
当期変動額	△ 0
自己株式の取得	—
自己株式の処分	△ 0
当期変動額合計	△ 461
当期末残高	△ 461
株主資本合計	
前期末残高	23,068
当期変動額	△ 349
剰余金の配当	998
当期純利益	△ 0
自己株式の取得	—
自己株式の処分	—
当期変動額合計	648
当期末残高	23,716
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	2
当期変動額	△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 0
当期変動額合計	2
当期末残高	2
評価・換算差額等合計	
前期末残高	2
当期変動額	△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 0
当期変動額合計	2
当期末残高	2
純資産合計	
前期末残高	23,070
当期変動額	△ 349
剰余金の配当	998
当期純利益	△ 0
自己株式の取得	—
自己株式の処分	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 0
当期変動額合計	647
当期末残高	23,718

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

発行可能株式総数……………25,000,000株

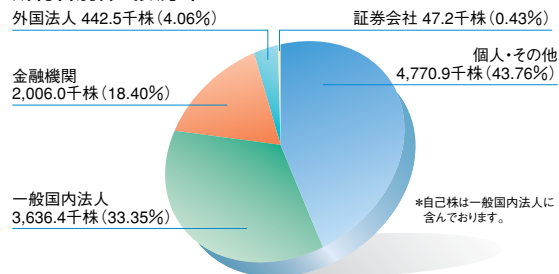
発行済株式の総数……………10,903,240株

単元株式数……………100株

株主数……………14,583名

株主1人当たり平均持株数……………748株

所有者別株式数分布

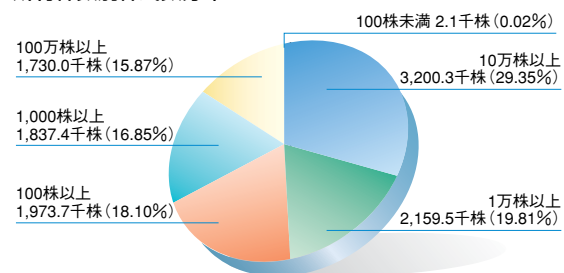


大株主

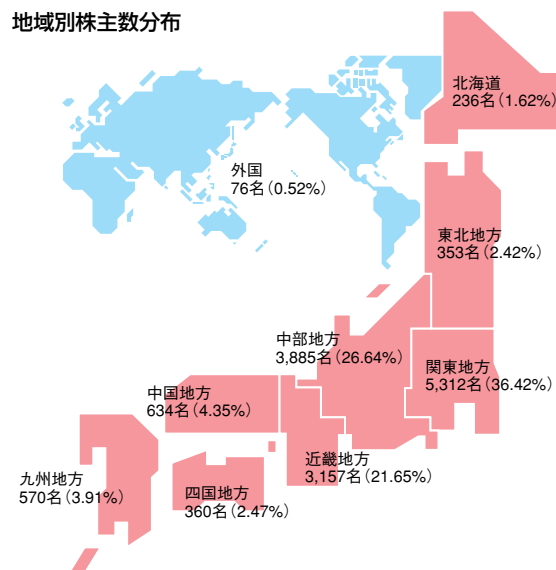
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社 アネシス	1,730,000	16.32
加納株式会社	701,849	6.62
株式会社北國銀行	442,280	4.17
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	257,700	2.43
小松ウオール工業従業員持株会	228,840	2.16
有限会社マルヨ	228,000	2.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	181,300	1.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	175,500	1.66
明治安田生命保険相互会社	154,600	1.46
加納裕	154,012	1.45

(注) 1. 持株比率は自己株式 (305,125株) を控除して計算しております。
 2. 資産管理サービス信託銀行株式会社、日本マスタートラスト信託銀行株式会社および日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の持株数は、信託業務に係るものであります。

所有株数別株式数分布



地域別株主数分布



商号 小松ウォール工業株式会社
(KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.)

設立 昭和43年1月22日

資本金 3,099,945,552円

事業目的 1. スチールおよびアルミニウム製品の製造、
販売ならびに工事施工
2. 室内装備品の販売および設計施工
3. 前各号に附帯する一切の事業

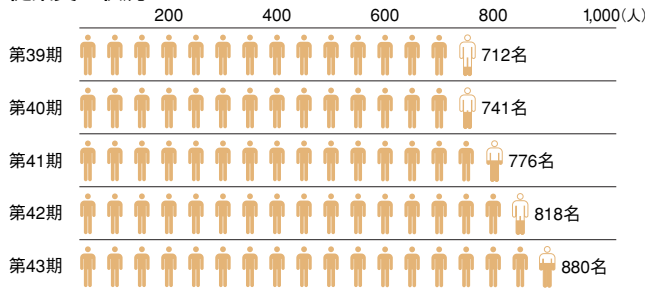
役員

代表取締役社長	加納裕
取締役	牛島 寛
取締役	吉岡 雄
取締役	木戸 義
取締役	鈴木 裕
取締役	本彦 文
常勤監査役	熊田 義
監査役	林 雅
監査役	山口 他喜男
	徹

従業員数 880名

(注) 従業員数には、嘱託およびパートタイマー(計20名)は含まれておりません。

従業員の状況



本社社屋

事業所

本社・工場

本社	〒923-8643	小松市工業団地一丁目72	☎(0761) 21-3131(代)
第一工場	〒923-8643	小松市工業団地一丁目6	☎(0761) 21-7161(代)
第二工場	〒923-8643	小松市工業団地一丁目72	☎(0761) 21-3374(代)
第三工場	〒923-8643	小松市工業団地二丁目16	☎(0761) 23-5191(代)

支店・営業所

札幌支店	〒063-0850	札幌市西区八軒十条西10丁目1-30	☎(011) 611-5122(代)
仙台支店	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町一丁目6-10	☎(022) 788-2181(代)
新潟支店	〒950-0951	新潟市中央区鳥屋野字中沼314	☎(025) 283-1595(代)
東京支店	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03) 3263-2351(代)
東京第一支店	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03) 3263-2951(代)
横浜支店	〒222-0033	横浜市港北区新横浜三丁目18-14 住生新横浜第2ビル8F	☎(045) 474-3733(代)
長野支店	〒399-0034	松本市野溝東一丁目16-22	☎(0263) 26-8731(代)
名古屋支店	〒467-0852	名古屋市瑞穂区明前町17-7	☎(052) 819-6021(代)
京都支店	〒600-8357	京都市下京区五条通堀川西入柿本町579 五条堀川ビル1F	☎(075) 352-4711(代)
大阪支店	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋一丁目1-13 東邦ビル7F	☎(06) 6241-5321(代)
大阪第一支店	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋一丁目1-13 東邦ビル8F	☎(06) 6245-6871(代)
広島支店	〒731-5123	広島市佐伯区五日市町大字昭和台28-5	☎(082) 924-8890(代)
四国支店	〒760-0078	高松市今里町二丁目12-7	☎(087) 834-6011(代)
福岡支店	〒812-0062	福岡市東区松島一丁目32-20	☎(092) 623-8581(代)
青森営業所	〒030-0811	青森市青柳一丁目7-4	☎(017) 732-3121(代)
盛岡営業所	〒020-0816	盛岡市中野一丁目17-3	☎(019) 606-1631(代)
福島営業所	〒963-0111	郡山市安積町荒井字大久保28-1	☎(024) 946-0601(代)
前橋営業所	〒371-0831	前橋市小相木町36-1	☎(027) 253-0221(代)
宇都宮営業所	〒321-0924	宇都宮市下栗一丁目23-21	☎(028) 633-0721(代)
水戸営業所	〒310-0046	水戸市曙町10-1	☎(029) 251-0601(代)
さいたま営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町四丁目43-20	☎(048) 651-5321(代)
千葉営業所	〒262-0013	千葉市花見川区糺橋町1621-7	☎(043) 257-5511(代)
東京OS営業所	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03) 3263-2961(代)
東京第二営業所	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03) 3263-5571(代)
八王子営業所	〒192-0024	八王子市宇津木町593-1	☎(042) 639-7711(代)
川崎営業所	〒212-0053	川崎市幸区下平間130 サンガーレンビル1F	☎(044) 543-6851(代)
長野営業所	〒381-0026	長野市松岡二丁目3-78	☎(026) 222-2466(代)
松本営業所	〒399-0034	松本市野溝東一丁目16-22	☎(0263) 26-8731(代)
山梨営業所	〒400-0851	甲府市住吉四丁目23-6	☎(055) 223-5811(代)
浜松営業所	〒435-0036	浜松市南区渡瀬町304-1	☎(053) 411-8131(代)
岐阜営業所	〒500-8357	岐阜市六条大溝一丁目12-9	☎(058) 268-7101(代)
三重営業所	〒514-0832	津市南中央30-19	☎(059) 222-3531(代)
滋賀営業所	〒520-2361	野洲市北野一丁目5-10 リ・ブレイスⅡ3F	☎(077) 518-0701(代)
和歌山営業所	〒640-8341	和歌山市黒田字門田158-5	☎(073) 473-8171(代)
奈良営業所	〒630-8113	奈良市法蓮町986-2	☎(0742) 26-5751(代)
神戸営業所	〒658-0044	神戸市東灘区御影塚町一丁目9-33	☎(078) 856-8181(代)
岡山営業所	〒700-0952	岡山市北区平田101-102	☎(086) 243-7581(代)
高松営業所	〒760-0078	高松市今里町二丁目12-7	☎(087) 834-6011(代)
松山営業所	〒791-8041	松山市北吉田町1006-32	☎(089) 971-9941(代)
北九州営業所	〒802-0979	北九州市小倉南区徳力新町二丁目9-20	☎(093) 965-2311(代)
熊本営業所	〒861-8005	熊本市龍田陣内三丁目12-1	☎(096) 337-1711(代)
宮崎営業所	〒880-0032	宮崎市霧島五丁目43-1	☎(0985) 24-0551(代)
鹿児島営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-132	☎(099) 260-2601(代)

新製品紹介

●サーフィスウォール スライド式点検扉（平成21年10月発売開始）

スライド式点検扉は、両端の開きパネルの間のパネルがスライドすることにより、自由な位置に開口部をとることができる製品です。

建物全般の電気室・空調室・機械室等設置場所に応じて、高遮音タイプ・遮音タイプ・標準タイプを揃えております。



●LSドア 両折り戸（平成22年4月発売開始）

両折り戸は、ドアを押ししたり引いたりすることで、双方に折れることができるバリアフリー対応ドア製品です。

ドアの内側外側どちらからでも、同じ操作でドアを開閉することができます。



株式会社についてのご案内(株主メモ)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部 大阪証券取引所 市場第一部
株主確定の基準日	定時株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	6月
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 (http://www.komatsuwall.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告 をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して 行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

株主優待制度のお知らせ

- 贈呈基準 期末日(3月末日)現在100株(1単元)以上保有の株主様に、一律2,000円分の当社オリジナルデザイン図書カードを贈呈いたします。
- 贈呈時期 6月下旬に配当金支払通知等とともに送付いたします。

小松ウオール工業株式会社

石川県小松市工業団地一丁目72番地

URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>

